

戦略研究学会 秋季講演会のご案内

共同開催／ 安全保障技術評価センター（CSTA）

◎日 時 2023年12月14日（木）19:00～21:00

◎会 場 早稲田大学早稲田キャンパス 3号館601教室（東京都新宿区）

◎テーマ **防衛産業の将来**—防衛生産基盤強化法と経済安全保障推進法は何を変えるのか

日本の防衛産業は、市場の閉鎖性と規模の小ささといった構造的要因や「兵器」に対する負のイメージといった国内政治的要因から、長年にわたり多くの困難に直面してきました。一方、近年、兵器の開発と製造をめぐる世界的なトレンドは大きく変化し、民間セクター発のエマージング・テクノロジーの活用、希少資源・技術の確保を含むサプライチェーンの強化、国際的な共同開発・生産の拡大、有事における増産体制の確立などの必要性が高まっています。本講演会では、このような環境を踏まえつつ、日本の防衛産業の将来や防衛産業政策の在り方を討論します。

◎パネリスト

プロフィールは裏面参照

安藤詩緒氏（拓殖大学政経学部准教授）

小木洋人氏（国際文化会館アジア・パシフィック・イニシアティブ（API）／地経学研究所主任研究員）

西脇 修氏（防衛省防衛装備庁審議官）

福永晶彦氏（国土舘大学経営学部教授）

◎司会者

佐藤丙午氏（拓殖大学海外事情研究所所長／国際学部教授）

■参加費 戦略研究学会およびCSTA会員 1,000円 非会員 1,500円

■参加方法

参加される方は **事前参加登録** が必要です

①学会HPの専用サイトから事前参加登録してください **12月4日締切厳守**

②参加費は、当日会場にてお支払いください

戦略研究学会

113-0033 東京都文京区本郷 3-3-13 TEL 03-3813-4466 FAX 03-3813-4615

<http://www.j-sss.org/> 事務局アドレス jimukyoku@j-sss.org

◎パネリスト

安藤詩緒氏（拓殖大学政経学部准教授）

明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了。博士（商学）。明治大学商学部助教、常葉大学経営学部専任講師を経て現職。専門は、応用経済学、計量経済学、統計学。安全保障・防衛政策について、それに関わる産業などを含めて、経済学的な視点から研究している。著作に「日本の防衛産業政策に関する経済的側面からの考察」『海外事情』（2011年11月）、『防衛の計量経済分析』（共著、五紘舎、2020年）、「経済的視点による今後の日本の防衛部門」『海外事情』（2023年9月）など。



小木洋人氏（国際文化会館アジア・パシフィック・イニシアティブ（API）／地経学研究所 主任研究員）

東京大学教養学部卒業、コロンビア大学国際関係公共政策大学院修了（国際関係修士）、慶應義塾大学政策・メディア研究科後期博士課程在学中。2007年防衛省入省後、防衛政策局、整備計画局、運用企画局、防衛装備庁、外務省国際法局などを経て、2022年より現職。専門は、日本の安全保障政策、防衛産業政策、各国の防衛戦略など。著作に「米国の防衛産業政策におけるデリスキングの取組 その影響と日本に対する示唆」『海外事情』（2023年9月）など。



西脇 修氏（防衛省防衛装備庁審議官）

東京大学法学部卒業。タフツ大学フレッチャータ法律外交大学院修士課程終了（MALD）。博士（政策研究）。通商産業省（現経済産業省）入省。通商政策局通商機構部参事官（総括担当）、貿易経済協力局戦略輸出交渉官等を経て現職。政策研究大学院大学特任教授（2020～22年）。専門は、国際関係論、国際政治経済学など。著作に『米中対立下における国際通商秩序 パワーバランスの急速な変化と国際秩序の再構築』（文眞堂、2022年）、『経済安全保障と技術優位』（共編著、2023年、勁草書房）、『経済安全保障と半導体サプライチェーン』（共編著、文眞堂、2023年）、『新時代の相互主義 地殻変動する国際秩序と対抗措置』（共編著、文眞堂、2023年）など。

福永晶彦氏（国土舘大学経営学部教授）

慶應義塾大学商学部卒業。英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程修了（PhD. in Behaviour in Organisations）。2020年度より現職。専門は、防衛産業企業・航空機産業・重工業企業研究。著作に『軍用機製造企業の戦後史 戦後空白期から先進技術実証機まで』（芙蓉書房出版、2016年）、「我が国における航空機の自主開発の現状と意義について 現代における我が国軍用機開発の状況を中心に」『国土舘大学経営研究所紀要』（2021年3月）など。



◎司 会

佐藤丙午氏（拓殖大学海外事情研究所所長／国際学部教授）

一橋大学大学院修了（博士・法学）。防衛庁防衛研究所主任研究官（アメリカ研究）を経て、2006年より現職。専門は、国際関係論、安全保障論、軍備管理軍縮など。2010年に外務省参与および外務大臣の政策参与（軍縮・核不拡散担当）を務める。特定通常兵器使用禁止制限条約（CCW）の自律型致死兵器システム（LAWS）などの国連専門家会合に日本代表として出席。著作に、「自立型致死性無人兵器システム（LAWS）」『国際問題』（2018年6月）、「エコノミック・ステイトクラフト（Economic Statecraft）の理論と現実」『国際政治』（2022年2月）など。



【戦略研究学会 第61回定例研究会のご案内】

テーマ **台湾有事と離島防衛（仮）**

日時 **2024年2月3日（土）1400～1600（Zoomによるオンライン開催）《要事前参加登録》**

報告者 **中林啓修氏**（国土舘大学准教授）

討論者 **山下愛仁氏**（磐田市役所防災戦略監・元航空自衛隊）

参加費 **戦略研究学会会員は無料 非会員 1,000円**

**※参加申込方法は12月20日
以降に学会HPに掲載します**